

没後20年 ヘルナール・ビュフェ
或る画家の航海

Bernard Buffet : The voyage of a painter



開催中— 2021年4月4日 |日|まで延長開催いたします

没後20年 ベルナール・ビュフェ 或る画家の航海

Bernard Buffet : The voyage of a painter

2019年10月5日(土)ー2020年10月4日(日)

ベルナール・ビュフェ美術館

私は大海原を航海する一隻の小舟のようなもの。波は繰り返して押し寄せてくる。

その波間を縫って何とか舵をとっているのです。波にもまれながら進んでいるのです。

ーベルナール・ビュフェ

ナチスの占領から解放され、第二次世界大戦が終結してまもなくのフランス。人々が戦後の喪失感から立ち直ろうとしていたその時代に、無口な青年の描いた絵が注目を集めました。

画家の名はベルナール・ビュフェ。彼の作品はまさに時代を切り取り描いたものとして人々の共感を呼び、ビュフェは瞬く間に時代のアイコンとなりました。

その後の約50年にわたる画家人生において、ビュフェは8000点を超える作品を生み出します。注目を浴びるがゆえの賛否両論の嵐の中、ビュフェは、終生さまざまな表現に挑みつづけました。

ビュフェが71歳で亡くなって20年が経ちました。ビュフェという画家が世界を席巻した当時のことを覚えている世代がいる一方で、初めてその作品に出会う世代も多くなっています。本展では、当時の「ビュフェ現象」をふりかえりつつ、今、あらためてその作品にじっくりと向き合います。ビュフェがデビューした時代、人々が心に大きな空洞を抱え未来を探しあぐねていた空気は、今の時代、私たちが感じているものにも通ずるのではないのでしょうか。画家、ベルナール・ビュフェの唯一無二の表現を、たっぷりとお楽しみください。

ベルナール・ビュフェ (Bernard BUFFET, 1928-1999)

パリ生まれ、戦後具象画の代表的作家。

研ぎ澄まされた線によるその虚飾を廃した人物描写は、当時の若者に多大な影響を及ぼしたサルトルの実存主義やカミュの不条理の思想の具現化として映り、国内外にビュフェ旋風を巻き起こした。



1. 没後20年 ビュフェとその時代をあらためて振り返る



「批評家賞」受賞時のビュフェ（左）

ベルナール・ビュフェが画家としてデビューしたのは、第二次世界大戦後まもなくのことでした。いくつかの展覧会への出品作で注目を集め始めていたビュフェは、1949年、19歳の若さで「批評家賞」を受賞し世間を驚かせます。当時の美術界は抽象表現主義へ、そして芸術の発信地がパリからアメリカ・ニューヨークへと移り変わる真っ只中にありました。その流れに対抗する具象絵画の旗手として、フランス伝統絵画の新星と

して、若きビュフェには画壇の大きな期待が寄せられたのです。ビュフェの表現は、戦争の痛み、その時代の現実を描き出したとされ、「時代の証人」画家のひとりとして、当時の若者の心をとらえた「実存主義」「不条理」といった思想とも重ねられるようになりました。発言力のある美術批評家や文化人たちがこぞってビュフェについて語り、ビュフェの作品、そしてビュフェ自身までもが、まさに時代の申し子となっていたのです。ビュフェが登場した時代はどのような状況で、ビュフェはどのように受け入れられていたのか、当時の写真や雑誌の資料などを織り交ぜて振り返ります。

2. 「ビュフェ現象」を巻き起こした初期の作品群



《アトリエ》 油彩 1947



1958年の展覧会カタログ

19歳で注目を集めたビュフェは、瞬く間に最もよく知られる画家の一人となりました。その多作ぶりや当時の注目度は、1958年に開催した「回顧展」によく現れています。

「ベルナール・ビュフェによる1944年から1958年までの100の絵画」と題されたこの展覧会が開かれたのはビュフェが29歳のとき。30歳前に

して、晩年の画家が生涯の作品を集めてひらく回顧展に匹敵する数の作品を制作していたこと、そして、販売をしない、美術館のような展覧会であったことも世間を驚かせました。ビュフェの作品を見ようと集まった10万もの人々は画廊のある通りを埋め尽くし、そのことがまた話題になったのです。当館収蔵品の中から、この回顧展を髣髴とさせる初期の作品群を展示します。

3. ベルナール・ビュフェの内面に迫る

注目を浴びるがゆえの賛否両論の嵐の中、画家としてのビュフェの人生は決して平坦なものではありませんでした。それでもビュフェは、人生の移り変わりとともにさまざまな挑戦を試み、ひたすら絵を描き続けました。自身について語ることの少なかったビュフェですが、自分には絵



《バゲットのある静物》 油彩 1949

しかない、自分自身が絵の中に埋没してもよい、という言葉を残しています。ビュフェは「具象」にこだわり、形あるものを描き続けましたが、作品には彼の内面が表現されていました。ビュフェが生涯描き続けたモチーフや場所をたどりながら、画家ベルナール・ビュフェの内面に迫ります。



《ドン・キホーテと風車》 油彩 1988



《皮を剥がれた人体》 油彩 1964

ベルナール・ビュフェ美術館は、1973年、ビュフェが45歳の年に開館しました。戦争から復員した創設者がビュフェの作品に心を打たれたことからコレクションが始まり、現在では、初期から晩年までの作品約2000点（油彩以外に水彩、版画等を含む）を所蔵。ビュフェ本人も何度も訪れています。ビュフェの生涯の画業を追うことができる、世界で唯一の美術館です。



ベルナール・ビュフェ美術館 外観
写真： 山本 糾

【広報用画像資料】

広報用にお使いいただける画像をご用意しています。
お申込み、お問い合わせについては次ページをご覧ください。
クレジット表記は各画像下の内容をご利用ください。
(原題表記が必要ななどの場合お問い合わせください)



1 《ニューヨーク マンハッタン》 油彩 1958 年



2 《自画像》 油彩 1958 年



3 《サン＝カストの海辺の家》 油彩 1965 年



4 《サーカス： ル・ピエ・ド・ネ》 油彩 1955 年



5 《二つのテーブル》 油彩 1950 年



6 ベルナール・ビュフェ美術館外観 (クレジット表記不要)

INQUIRY

【広報用画像資料申し込み用紙】

前ページ掲載の作品について画像資料（デジタルデータのみ）をご用意しています。

ご希望の場合は□にチェック☑を入れ、必要事項をご記入の上、FAXにて055-987-5511まで、
あるいは必要事項と画像の番号をE-mailにてinfo@bernard-buffet-museum.jpまでお申し込みください。

お願い ・クレジット表記は前ページ画像下の情報をご利用ください。

・掲載誌一部をご送付ください／掲載サイトのURLをお知らせ下さい。

・取材にご来館くださる場合は事前に担当者までご一報ください。

貴媒体名

掲載号

発売・公開日等

年

月

日

貴社名

ご担当者名

Tel

Fax

E-mail

ご住所

☐ 1 《ニューヨーク：マンハッタン》 油彩 1958年

☐ 2 《自画像》 油彩 1958年

☐ 3 《サン＝カストの海辺の家》 油彩 1965年

☐ 4 《サーカス： ル・ピエ・ド・ネ》 油彩 1955年

☐ 5 《二つのテーブル》 油彩 1950年

☐ 6 ベルナール・ビュフェ美術館外観
(クレジット表記不要)

FAX : 055-987-5511 / E-mail : info@bernard-buffet-museum.jp

【お問い合わせ】

展覧会担当：雨宮（あまみや）・井島（いしま）

ベルナール・ビュフェ美術館

静岡県駿東郡長泉町東野クレマチスの丘 515-57

TEL 055-986-1300

info@bernard-buffet-museum.jp

GENERAL INFORMATION



ベルナル・ビュフェ美術館／ビュフェこども美術館

<https://www.clematis-no-oka.co.jp/buffet-museum/>

〒411-0931 静岡県長泉町東野クレマチスの丘 515-57 TEL 055-986-1300 FAX 055-987-5511

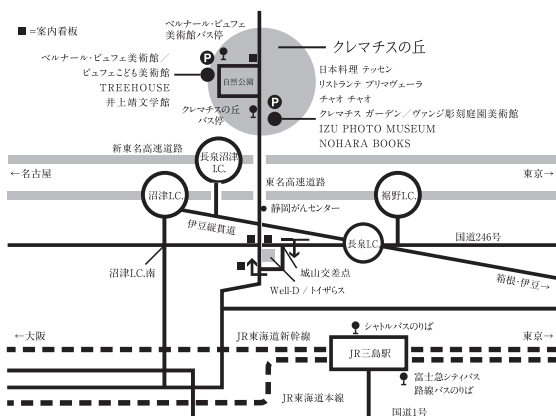
- 入館料 一般：1,000 円（900 円）高・大学生：500 円（400 円）中学生以下：無料（ ）内は 20 名様以上の団体割引
- 休館日 水曜日（祝休日の場合は翌日休、GW、年末年始期間中は HP にて開館日お知らせ）
- 開館時間 10:00－16:30（1 月）／10:00－17:00（2・3 月）10:00－18:00（4～8 月）／10:00－17:00（9・10 月）
10:00－16:30（11・12 月）入館は閉館の 30 分前まで

●アクセス

◎車の場合 【東京方面】東名・裾野 I.C.→R246 経由、沼津方面へ 10 km

【名古屋方面】新東名・長泉沼津 I.C. または東名・沼津 I.C.→伊豆縦貫道（無料区間）→長泉 I.C. 出口右折、R246 経由 7 km

◎電車の場合 JR 東海道線〔三島駅〕下車 北口（3 番乗り場）発 無料シャトルバスあり（所要時間 25 分）



<無料シャトルバス>

行き「三島駅北口（新幹線口）」発 ⇒ 「クレマチスガーデン」⇒ 「ベルナル・ビュフェ美術館」

分 時	9	10	11	12	13	14	15	16	17
平日	40	40	40		00	00	00	00	00
土日祝	40	40	40		40	40	40	40	

帰り「ベルナル・ビュフェ美術館」発 ⇒ 「三島駅北口（新幹線口）」

分 時	9	10	11	12	13	14	15	16	17
平日		10	10	10	30	30	30	30	
土日祝		10	10		10	10	10	10	15